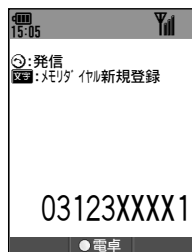
電話をかける

1
2
3
4

1 電源が入っていることを確認する。

- 電波状態を確認してください。
- ディスプレイに「圏外」や「 」が表示されているときは、ご利用になれません。（☞P.18-8）

2 市外局番からダイヤルする。

- 同一市内への通話の場合でも、必ず市外局番からダイヤルしてください。
- ディスプレイに「 」「 」が表示されているときは、ダイヤルできません。（☞P.18-8）

電話番号通知／非通知の設定

- 電話番号の前に次の数字を付けてダイヤルします。
  - ■通知するとき……1 8 6
  - ■通知しないとき…1 8 4

3 電話番号を確認し、 を押す。

電話番号を間違えたとき

- または を押し、カーソル「＿」を動かしたあと クリア を押すと、カーソル位置の番号が消えます。クリア を長く（1秒以上）押すと、数字がすべて消え、待受画面に戻ります。 を押したあとは、 を押して電話を切り、かけ直してください。

相手がお話し中のとき

- を押していったん電話を切り、しばらくしてからかけ直してください。

4 通話が終わったら、 を押す。

- V602SHをクローズポジションにしても、電話は切れます。V602SHをクローズポジションにしても、電話が切れないようにすることができます。（☞P.2-12）

ビューアポジションで電話をかける

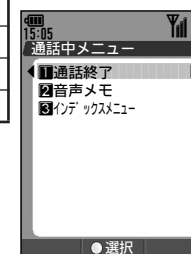
メモリダイヤルを利用して電話をかけます。

■あらかじめメモリダイヤルの登録が必要です。（☞P.5-3）

S ➡「電話」選択 ➡ S ➡「2メモリダイヤル検索」選択 ➡ S ➡ メモリダイヤル呼出（☞P.5-13～P.5-14）➡ S（メニュー）➡「発信」選択 ➡ S

- ビューアポジションで通話するときは、ディスプレイが見えるように持ち、レシーバー（受話口）を耳にあてます。

- ビューアポジションでの通話中には、次のボタンを使って各操作が行えます。

ボタン	操作
S	通話中メニュー表示
C（長押し）	通話終了
▶	受話音量大
◀	受話音量小

通話中メニュー

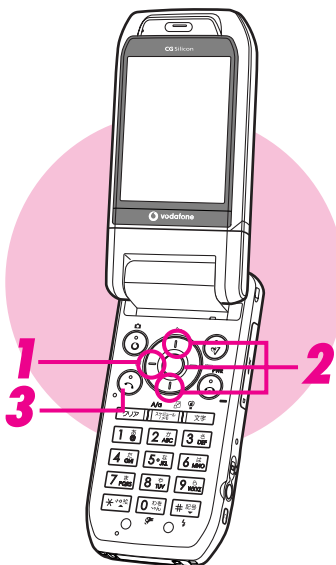
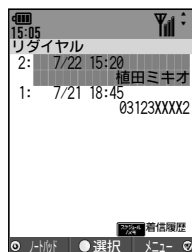
注意

- オフラインモードに設定されているときは、電話をかけることができません。（☞P.3-6）
- 通話時マイクがふさがれていると、相手にこちらの声が聞こえなくなります。
- 内蔵アンテナ部分（☞P.1-7②）には、触れないようにしてください。通話品質が悪くなります。
- 通話中は、オープンポジションで利用することをおすすめします

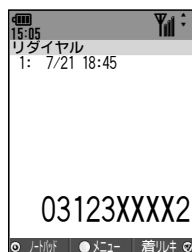
補足

- 通話後、自動的に通話時間や通話料金の目安を表示することもできます。（☞P.2-23）
- 累積の通話時間（☞P.2-21）や通話料金（☞P.2-22）の目安を確認することもできます。
- スピーカーを使って通話することもできます。（☞P.8-22）
- 国際電話をかけるときは、「**サービスガイドブック**」を参照してください。

以前かけた電話番号にもう一度かける

以前かけた電話番号を最新の20件まで記憶しています。それらを呼び出して簡単に電話をかけることができます。（リダイヤル）

1 ◉（□）を押す。

記憶している電話番号と日時が新しいものから順に、５件まで一覧表示されます。
メモリダイヤルに登　されているときは、相手の名前が表示されます。

- リダイヤルが５件以上あるときは、◉を押すと新しいものから、◉を押すと古いものから順に表示されます。

2 かけたい電話番号を選び、◉を押す。

- 日時、電話番号のほか、メモリダイヤルに登　されているときは、名前も表示されます。

3 ⌒を押す。

表示されている電話番号がダイヤルされます。

- 同じ番号に２回以上の電話をかけたときは、最後に電話をかけた日時のデータだけが記憶されます。
- シークレットデータの名前は、シークレットモード以外では表示されません。
- 電源を切ってもリダイヤルの記憶は消えません。
- 20件を超えたときは、古いものから消去されます。

番号を付加して電話をかける

あらかじめ番号を登　し、メモリダイヤルの先頭に付けて発信します。国際電話専用の「**国際発信**」と、184 や186 などお好みの番号を登　できる「**セット発信**」があります。

プリセット登録　国際発信またはセット発信用の番号を登　します。

お買い上げ時 国際発信：0046010、セット発信：なし

◉7 9➡「1国際発信登録」／「2セット発信登録」選択➡◉➡番号入力➡◉

- 変更するときは、登　されている番号を消したあとに入力し直します。
- 「**国際発信**」は７　以内、「**セット発信**」は６　以内で入力します。

国際発信／セット発信　登　した番号を付加して電話をかけます。

メモリダイヤル呼出（☞P.5-13〜P.5-14）➡◉➡「国際発信」／「セット発信」選択➡◉